

長野市復興だより ワン・ハート

ONE HEART



～ みんなでひとつにがんばろう長野 ～

幸せ実感都市『ながの』復興元年予算

長野市では、令和2年度当初予算を「災害復旧の歩みを止めることなく、更に復興に向け力強く歩み出す“復興元年予算”」と位置付け、災害からの復旧・復興予算を主軸に、一般会計当初予算額が1,745.2億円となり、当初予算としては過去最大となりました。令和元年東日本台風災害関連の総事業費として280.5億円を確保し、以下のような事業を実施してまいります。

被災者支援・地域コミュニティ支援【12.8億円】

- ▶ 被災者に対する心のケア、見守り・相談
- ▶ 応急仮設住宅提供、被災住宅応急修理
- ▶ 被災した地域公民館の改築・補修等に係る補助
- ▶ 児童生徒の通学・移動支援 など

インフラ・公共施設の復旧【37.4億円】

- ▶ 道路・河川・公園・水道・下水道の復旧
- ▶ 支所の復旧(長沼支所の仮設庁舎設置、豊野支所の本格復旧)
- ▶ 小中学校の復旧(本格復旧までの仮設校舎設置長沼小・豊野中)
- ▶ 保育所、児童館等の復旧(長沼保育園の仮設園舎設置他)など

農業者支援、中小企業支援等【107.3億円】

- ▶ 農地・農業用施設の復旧(堆積土砂撤去、排水機場の復旧等)
- ▶ 被災中小企業振興資金融資のための預託金増額・保証料負担など

災害に備える【12.9億円】

- ▶ 地域防災力の向上(防災訓練、避難行動支援・周知、講演会)
- ▶ 防災情報システムの整備 など

災害廃棄物処理、公費解体【108.4億円】

その他(災害派遣職員受入れ)【1.7億円】



被災者の皆さまへ

①自費解体の契約期限及び申請受付期限を延長します

令和元年東日本台風の災害で被災し、全壊、大規模半壊または半壊と判定された家屋等の自費解体の契約期限及び申請受付期限を延長します。

	契約期限	申請受付期限
変更前	令和2年3月31日(火)	令和2年6月30日(火)
変更後	令和2年6月30日(火)	令和2年9月30日(水)

※公費解体の申請受付期限は、令和2年9月30日(水)で変更はありません。

公費解体、自費解体の申請受付には事前予約が必要ですので必ず予約専用コールセンター(TEL:0120-100-420)で会場、日時等を予約しお越しください。

②浸水した住宅の復旧に向けた講演会・相談会を開催します

令和元年東日本台風災害で被災し、住宅修理を経験された講師をお迎えし、カビに対する基礎知識から発生したカビの除去、住宅の修理方法、修理後の注意点などについてご講演いただきます。

講演終了後、講師と長野県建築相談連絡会が住宅修理などの相談も承ります。

日時・場所	4月26日(日)篠ノ井総合市民センター 10:00～11:00 講演会「浸水住宅の復旧～発生したカビの対策と住宅の修理方法について」 講師/中谷岳史さん(信州大学工学部助教) 11:00～14:00 相談会
定員	30人(参加無料・先着順)
お申し込み	4月22日(水)までに電話・Eメールで建築指導課へ
お申し込み・お問い合わせ先	建築指導課(TEL:026-224-8902 e-mail:shidou@city.nagano.lg.jp)

③住宅と建築物に関する総合相談会を開催します

住宅と建築物に関する具体的課題や問題に対して建築士・弁護士等の専門家が相談に応じます。相談は無料、予約制(先着順)です。

日時・場所	5月16日(土)10:00～15:00 豊野公民館
お申し込み	申込書に必要事項をご記入いただき、5月13日(水)までにお申し込みください。 ◎郵送、ファクス、Eメールの場合:長野県建築相談連絡会へ ◎窓口持参の場合:建築指導課(第2庁舎7階)へ
お申し込み・お問い合わせ先	長野県建築相談連絡会(事務局:(公社)長野県建築士会) TEL:026-235-0561(月～金曜日(祝休日除く)午前9時～午後5時) 〒380-0872長野市大字南長野字宮東426-1 FAX:026-232-2588 e-mail:n-shikai@avis.ne.jp

申込書は建築指導課(第2庁舎7階)、豊野・柳原・篠ノ井・松代支所でお配りするほか、以下のホームページからダウンロードできます。

◎長野県建築相談連絡会:<http://www.nagano-kenchikushikai.org/soudan/>

◎長野市:<https://www.city.nagano.nagano.jp>

④～住まいの再建に向けて～ アンケート調査を行っています

全壊、大規模半壊または半壊と判定された方に「住まいの再建に向けたアンケート」を郵送させていただきました。

被災された皆さまの「住まいの再建」の現状を把握し、市の取り組みにつなげていきます。締切りを3月27日としていますが、遅れてもかまいませんので皆さまの状況をお知らせください。(アンケートに同封されていた封筒で切手を貼らずに返送できます)

今後も定期的に調査していきたいと考えています。ご協力をお願いします。

お問い合わせ先	住宅課(TEL:026-224-5424 e-mail:jutaku@city.nagano.lg.jp)
---------	---

02



「やっているよ!」と 皆さんに勇気を与えられるように

穂の香
沼倉 洋さん

長野市豊野町にあるベーカリー「穂の香」は、10月13日に床上2mまで浸水し、店舗と工場の全てが水没。翌日から再起のために立ち上がり、3ヶ月後にリニューアルオープンを成し遂げた店主の沼倉さんに、復活にかけた想いなどを伺いました。

人生で二度目の罹災

2015年の10月10日に開店し、ちょうど4周年記念のフェアをやっている最中でした。1階の機械類は全滅でしたが、天井はぎりぎり浸からずに済み、2階の住居部分が生きていたことが救いでした。

私は若い頃、神戸のパン屋で修業していて、阪神大震災を経験しました。あの時に見た悲惨な光景を思い出して、今回は全然マシだと思えるようになりました。自然にはかなわないし、いつまでもいじけてたってしまうと。ただ、お店がなければ収入もないし、遊んでる暇はないので、早く建て直したい一心で、水が引いた翌日から駆けつけてくれた友人たちと壁と床を剥がす作業に取り掛かりました。大工さんにも優先的にやってもらう事ができて本当に運が良かったと思います。



浸水し、什器や機械類が散乱(10月14日撮影)



穂の香の新店舗。看板は友人が作ってくれた

町に明かりを灯したい

被災して3ヶ月後、自分の誕生日でもある1月13日にリニューアルオープンに漕ぎ着けました。まだご近所さんも戻って来てなくて、夜も真っ暗なので、お客さんも来ないだろうと思っていましたが、とりあえず「ここはやってるよ」という事をわかってもらって、安心してもらえればいいという気持ちで開けました。けれど、開店当日にテレビ取材が来てくれたり、いろいろなメディアに取り上げられたおかげで、あちこちからお客さんが来てくれて、予想以上の反響でした。心配してくださった常連さんの中には「やってるんだね」って泣いて喜んでくれる人もいて、開けて良かったなと思いました。

恩を忘れず邁進する日々

リニューアルオープンから2ヶ月ほどが経ち、以前とほぼ同数の50~60種類のパンが並べられるようになりました。パティシエの妻が担当するケーキは焼き菓子の機械や材料がまだ揃っていないので、徐々に再開できるように頑張っているところです。

今回の被災で多くの方々にご心配や励ましの声をいただき、中には、「こういうものが一番いいだろう」と言って小麦粉やパンの材料を大量にかついで来てくれた人もいて、本当にありがたかったです。今度どこかで災害があった時には、自分たちも店を休んでも応援に駆けつけたいと思っています。



穂の香

国産小麦を使用した「穂の香」豊かなパンはご好評いただき、16時~17時頃には品切れで閉店になる場合もあります。ぜひお早めにご来店ください。

長野市豊野町豊野478-33 TEL 026-219-2009
営業時間:7:30~18:30 定休日:火曜・第3水曜

03



アップルラインの 持続的で創造的な復興を目指して

フルプロ農園
徳永 虎千代 さん

長野市内に点在する15の畑を管理しているフルプロ農園では、13の畑が浸水被害を受け、事務所兼倉庫も1階屋根部分まで浸水。年間収入の8割を占めるサンふじのほとんどを失った。農家の担い手不足の解決のため、生産性を3倍上げる「高密度栽培」という新しい栽培方法を導入するなど、『課題解決農家』として活動を続ける代表の徳永さんに復旧・復興の現状と課題を伺いました。

災害を通してつながった人との縁

私たちの畑の大部分は、幸いにも泥の量が少なく、ボランティアの皆さまの支援のおかげで、早いペースで復旧が進み、既に来季へ向けての栽培が始まっています。友人知人をはじめNPOなど複数の支援団体からの継続的なボランティア活動のおかげで復旧のスピードが上がり、本当に感謝しています。災害がなければ出会わなかった人との繋がりができたことはありがたいことです。



ボランティアとの堆積土砂除去作業

長野アップルライン復興プロジェクト

復旧作業を進める一方で、被災後すぐに計



画したのが、クラウドファンディング※(以下、CF)でした。CFの目的は、資金調達だけでなく、社会的関心を集めることにありました。“多くの方々とともに、復興の第一歩を踏み出したい”という想いから、アップルライン沿いに農園を持つ若手りんご農家に呼びかけ、「長野アップルライン復興プロジェクト」を立ち上げて実施しました。11月12日に募集を開始し、目標金額1,000万円を遥かに上回る1,150万円、1,039人からの資金を集め、12月12日に募集を終了。現在、りんご以外のリターンはほぼ完了しています。著名人がSNSでシェアしてくれたり、多くの人たちの支援の輪が広がったことに感謝しています。

※インターネットを通じて自分の活動の趣旨や目標を発信し、それに賛同した人から資金を募る方法。

おいしいりんごを届けるために

CFで集まった資金は、復旧と復興の両方に充てるため、プロジェクトに関わる地域の組合や若手農家と慎重に話し合いながら進めています。復旧については、行政の補助が間に合わない細かい部分の作業に充て、復興については、持続可能な農業体制の創出を目指して、アップルラインの特産品の開発を行っています。地域の農家のりんごを使った「アップルグラノーラ」はまだ試作段階ですが、より多くの人にアップルラインのりんごのおいしさを知ってもらえるような販売展開を考えています。何より、支えてくださった皆さまに今年こそおいしいりんごを届けて恩返しできるように、できることからがんばっていきます。

株式会社フルプロ農園

私たちの持っているネットワークを使えば、たとえ一人では解決できないこともその糸口と一緒に見つけることができると思うので、被災された農家やものづくりに関わる方からのお問合せをお待ちしています。

長野市大字赤沼1688
TEL 026-296-9616
「長野アップルライン復興プロジェクト」へのお問い合わせ
mail:reconstruction.appleline@gmail.com



長野市復興だより ワン・ハート

ONE HEART

Issue 02 【発行】長野市企画政策部復興局復興推進課

電話:026-224-9728 e-mail:fukko@city.nagano.lg.jp

詳しい情報、市からのお知らせは、右記のURLからご確認願います。URL:https://www.city.nagano.nagano.jp/